

国労本部電送 No. 226	発信日 2024年6月19日	発信 企画部	責任者	受領者
-------------------	-------------------	-----------	-----	-----

指示第64号
2024年6月19日

エリア本部
各 執行委員長 殿
地方本部

国鉄労働組合
中央執行委員長 松川 聡

(一財) 国鉄労働会館主催

「交通運輸関連労働者を対象とした中央労働講座」の受講について

(一財) 国鉄労働会館はこれまで、労働者の相互親睦と福利厚生など生活と福祉の向上に努力を重ねるとともに会館事業として労働組合の基礎学習や各種調査・研究を行ないながら、労働・雇用問題や鉄道・交通政策などをテーマに幅広く労働講座を開催してきた。

現在、バス事業者の運転手不足による路線廃止や運転本数の削減が、地方のみならず都市部の路線にも広がりを見せているが、政府は急激な人口減少社会への対策として自動運転の事業化を急ピッチで進めている。

鉄道事業においても、これまで運転士の負荷軽減や正確な運転を目的に自動運転が実用化されてきたが、鉄道各社では要員不足を背景に、業務の効率化・省力化と利用者の利便性の維持・向上という新たな営利目的が付加されてきている。

鉄道における自動運転の導入にあたっては、何よりも、障がい者をはじめ、駅利用者の見守りや介助要員の確保、さらには乗降時の旅客の安全及び異常時の避難誘導など、駅の無人化や列車のワンマン運転に伴う具体的なルールづくりを行ったうえで厳正な基準を設けて輸送の安全を確保することが最優先されなければならない。

こうした情勢を踏まえ、一般財団法人・国鉄労働会館のご理解により、委託研究事業の一環として『鉄道ネットワークの維持と持続可能性の検討』の最終報告書をまとめるにあたって、標題の学習会を開催することとなった。したがって、各エリア・地方本部においては積極的に受講者を募らねたい。

記

1. テーマ 「鉄道の自動運転の可能性と諸課題について」
2. 講師 下村 仁士氏 (交通権学会事務局長)
3. 日時 2024年7月26日(金) 9時~10時
4. 会場 交通ビルB1F会議室
(東京都港区新橋5-15-5 ☎ 03-5403-1640)
5. 定員 交通運輸産業労働者を対象に100名の募集
6. 対象者 第93回定期全国大会構成員及び傍聴者

以上